

令和6年10月28日  
栗林商船株式会社

### 苫小牧/釧路航路における新規モーダルシフトの開始について

弊社が展開するRORO船の定期航路網で「2024年問題」に対応した新規モーダルシフトが開始されます。

今般の新規モーダルシフトは荷主であるイオン北海道株式会社、イオングローバルSCM株式会社、貨物を積載したシャーシをドレージするセンコー株式会社と弊社の連携により実現しました。

詳しくは次ページより掲載しておりますイオン北海道様との共同情報発信資料【RORO船を活用した海上輸送の店舗配送開始について 5月に実証実験した取り組みを本格稼働 イオン釧路店に衣料品など納品】をご覧ください。

弊社では本航路の他にもモーダルシフトに最適な中・短距離の航路網を展開しており、2024年問題の課題解決にお役立ていただけるものと自負しております。

以上



SENKO

AEON

2024年10月28日

イオン北海道株式会社  
イオングローバルSCM株式会社  
栗林商船株式会社  
センコー株式会社

## RORO船を活用した海上輸送の店舗配送開始について

### 5月に実証実験した取り組みを本格稼働 イオン釧路店に衣料品など納品

イオン北海道株式会社（本社：札幌市、代表取締役社長：青柳 英樹）は、イオングローバルSCM株式会社（本社：千葉県、代表取締役社長：手塚 大輔）、栗林商船株式会社（本社：東京都、代表取締役社長 栗林 宏吉）、センコー株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：杉本 健司）と連携し、10月29日（火）より、イオン釧路店に納品する衣料品、くらしの品（住居余暇商品、ヘルス&ビューティーケア商品）、食料品の一部商品について、RORO船（苫小牧港発、釧路港着）を活用した海上輸送による店舗配送を実施します。

イオンは、社会課題である物流分野における「2024年問題」解決に率先して取り組むため、各施策を実施しており、その中で「モーダルシフトやエリア単位での共同配送のさらなる推進」を掲げております。その実現に向け、本年5月に海上輸送の実験を行い、課題を精査、解決し、この度通常稼働できるオペレーションを構築しました。

今回の取り組みは、RORO船が運航する月曜日、火曜日、金曜日、土曜日にくらしの品、衣料品の一部商品を配送します。食料品は、配送する物量が増加し、トラックに積載しきれない場合にRORO船に積載する計画です。この取り組みは順次拡大し、来春には釧路市内と厚岸町、根室市内の店舗でも実施する予定です。

海上輸送により、陸上輸送で使用するトラックの車両便数削減やそれに伴うドライバー不足問題の解消、トラックから排出されるCO<sub>2</sub>排出削減が見込まれます。今後釧路市内と厚岸町、根室市内の店舗配送にRORO船を活用した場合、トラック運行距離は10,914時間削減（約83%削減）、CO<sub>2</sub>排出量は302.8t - CO<sub>2</sub>削減（約55%削減）の効果を想定しています。また、冬季間の降雪時や災害により、陸路や鉄道が遮断された場合の輸送（BCP対策）として活用することができます。

今後も本取り組みをさらに進め、物流分野の問題解決や持続可能な社会の実現に向けた施策を推進してまいります。

## ○海上輸送の流れ



### 【本件に関するお問い合わせ先】

イオン北海道株式会社 環境・社会貢献・広報・IR部	TEL 011-865-9111
イオングローバルSCM株式会社 北日本運営部	TEL 011-376-6610
栗林商船株式会社 営業本部 第一営業部	TEL 03-5203-7983
センコー株式会社	TEL 06-6440-5158